

令和7年度 第5回国分寺市男女平等推進委員会議事録

日 時：令和7年12月16日（火）19時～20時30分

場 所：ひかりプラザ 203・204号室

出席者：委員6名（富永副委員長・若島委員・青木委員・田中委員・
中田委員・橋本委員）

事務局：3名（人権平和課長・人権平和担当係長・人権平和担当）

副委員長：本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

これより令和7年度第5回男女平等推進委員会を開催いたします。よろしくお
願いいたします。それでは資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局：まず第5回の日程を変更させていただいたところ、皆様にはご対応いただきあり
がありがとうございます。

委員の出欠につきまして、横田委員からご欠席のご連絡をいただいておりますし
て、委員長、富本委員は遅れてご出席の予定かと思っておりますので、どうぞよろし
くお願いいたします。資料の確認をいたします。

まず本日の机にお配りした資料、まずは次第です。

資料1、自己点検票、前回のものを修正したものです。

資料2、第3次国分寺市男女平等推進行動計画の男女平等推進の視点と施策評
価の視点、最後に資料3、今年度の答申案をつけさせていただきました。資料
の確認については以上になります。

副委員長：それでは議題1第3次国分寺市男女平等推進行動計画、施策事業の評価方法につ
いて、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局：まず資料1をご確認ください。前回の推進委員会のときにいただいたご意見を踏
まえ一部修正をさせていただきました。1番下の段から3段目のところに男女
平等推進の視点というところを入れさせていただいています。前回の表では1
番上にあったものですが、こちらを下から3段目のところに移動させていただ
きました。また表示も、「男女共同参画推進の視点」となっていたましたが、こ
ちらは「男女平等推進の視点」と変えました。他の修正点は、1番下の段の評
価欄になります。表記を、前回は「取組評価」としておりましたが、「実績評
価」に修正しました。また、評価の内容AからDの基準も修正いたしました。
前回のAからDについては、男女平等推進に向けた取組が行われているかとい
うところについて、評価の基準としておりましたが、今回は取組の結果、男女
平等が推進されたかという評価としております。また評価理由に、男女平等推
進の視点からの記載をするように付け加えさせていただきました。自己点検票
についての説明は以上になります。

副委員長：ありがとうございました。第3次計画の施策評価の方法について、皆様ご意見あ
りましたら、いかがでしょうか。

委 員：質問です。この実績評価と評価理由は、このページで言うと人権平和課が記載す
るのですか。

事務局：それぞれの施策を実施した担当課で書いていただくようになります。

副委員長：以前よりA B C D分かりやすくなったような気がするのですが、どうでしょう
か。

委 員：これは本決まりなのですね。

事務局：はい。こちらで行いたいと思っております。

副委員長：それでは議題2、答申案についてに入りたいと思います。

事務局：資料2の男女平等推進の視点と施策評価の視点について、ご説明いたします。前回ご意見いただき、それぞれの施策評価の視点に、各施策の施策目標を、評価の視点として最後のところに付け加えております。下線を引いた部分が付け加えた部分になります。また、その他の内容については一部、表現を修正させていただいております。前回、目標3、学校指導課関連のところで、包括的性教育の視点を入れては、とのご意見がありましたが、担当課に確認しましたところ、国分寺市では『包括的性教育』という名称を使っておらず、視点として入れ込むことはできませんでした。

2点目として、それぞれの講座の参加の男女比を入れたらどうかというご意見もいただきましたが、それぞれ講座などの参加の男女比というのは、国分寺市では、性同一性障害に対する環境の変化など、人権が尊重される環境づくりということで、各種様式における性別の記入欄というのは、必要ないものについて削除するというような形で対応しております。前年度の実績評価のところで確認したところでもありますが、各課の講座などで性別を聞いたアンケート結果というのをとっていないところも多く、こちらも視点として入れ込むことは難しく、付け加えておりません。説明については以上になります。

委員：アンケートの話は、男性、女性例えばその他や答えたくないみたいなこともやっぱり難しいということですか。

事務局：人権平和課はジェンダー平等の施策を進めていますので、そうしたアンケートをとる場合、性別は必要な情報ということで質問に盛り込んでいます。様々な事業のアンケートに、性別を取る必要はそもそもあるのかという視点がどうしても出てきます。そうしますと、このためだけにってほしいというのは難しいところになります。

委員：今目標5のところですけども、施策評価の視点のところ、最後の下線が引いてあるところのすべてに、例えば性別に起因するということを入れられますか。施策評価の視点だけ見ていると、男女平等のことなのかと言うのが少し分かりにくいかなという印象を受けまして。

事務局：目標としては固まっている状況ですし、自己点検票のところにもそれぞれの目標というのが一番上に書いている状況でお渡しする予定です。そもそも目標が性別に起因するということですので、問題ないと考えています。

委員：非常にシンプルですね。目標に対してできたかと聞く、最終的にそれができたのかできなかったのか、それを評価しましょうということを頼んでいるわけですから、これは非常にシンプルになって良かったと思います。

副委員長：ちゃんとこう受け入れていただけたということですね。

委員：さっきの包括的性教育の話ですが、趣旨を含むならもう少し、どういう形なら可能なのかということを経験指導課に聞いていただくということと、場合によってはここでも何らかの別な手だてを検討していくということで解決を図っていけるのだとしたら、長期戦だとしても、その長期戦の糸口は作った方が良いのではないかと思います。そういうペースでしか進まないものがあるのも本当だとは思いますが、でも進め方に検討の余地があるならそこはやっぱり着々と試していった方が良くないかと思います。

事務局：今回、視点というところでそういう表現は入れられなかったというところは1つあるのですが、また今回新たに来年度に今年度の取組評価いただくにあたって、その視点を、どういう形で示してもらうように検討依頼させていただいて、改善に向かえればと思います。

委員：そういう意味では、今回答申を出しますよね。答申の中の男女平等教育の充実の

中に、例えば委員会及びパブコメでも包括的性教育の必要性について議論があったというような一行を入れていただくとか、そういうことはできないのですかね。この答申はこの委員会の答申ですよね。だから委員会中の意見及びそのパブコメからもこのような意見をもらったというような1行を、答申の中に入れて込むことはどうなのですかね。

事務局：ピンポイントに、記載するかどうか内容の全体バランス等も踏まえて検討いたしますが、その趣旨というものは伝えなければならないものと考えております。

副委員長：では次の議題に行かせていただいてよろしいでしょうか。

議題2、答申案について入ります。事務局より説明をお願いいたします。

事務局：資料3に答申案をお示ししました。ご指摘やご意見を頂戴できればと思います。よろしくお願いいたします。

委員：今の繋がりの中で、3ページなのですが、防災災害時における政策決定のところで、防災会議委員への任命に限らずとありますが、充て職だからどうかこうとかというところを何とか打破する方法を考えていただきたい。例えば部長にならなきゃだめだとか会長にならなきゃだめだということを待っているのではなくて、登用策を検討してもらいたい。各団体の代表が来るときに、自分のところに所属する女性の職員や女性たちから、女性の目線のアンケートをもらうというのもありますが、ただこれは間接的なことになってしまうので、その場にいてもらえるような形が取れないかなと願います。

副委員長：そのほか、ございますか。

委員：2ページ一番下、男性の育児休業の取得のところで、引き続き育児休業が取得しやすい意識づくりというふうにあります。これを環境づくりとかもうちょっと積極的な形に変えてもらった方が良く思うのですよね。意識を変えるためにはまず環境を変えなきゃいけない、環境を整えるということが大事だと思うのですよね。それが行政の仕事なのかなと思うので、ここは意識が変わる、環境という言葉じゃなくても意識が変わる言葉に置き換えてもらって、その取組を行ってもらいたいというふうにしても良いかもかもしれません。

委員：良いと思います。意識づくりだと結局取らない人の自己責任的な感じがどうしても漂うので、そうではなくて構造的な話なのですとか。という意味で環境という言葉はふさわしいです。

委員：先ほどの包括的性教育の話を入れるとすると課題4になるのですかね。

委員：これを何か文章として提案するのであれば、例えばこの委員会だとかパブコメにもあった通り、そのユネスコの推進する包括的性教育という視点に基づいた教育を推進されたいとかですかね。

委員：推進は難しいと思いますが、検討してもらいたいでも良いかもしれません。

副委員長：言葉が入るというのはすごく大きいと思います。ぜひ検討していただきたいなと思います。

委員：この答申の中に入っていないということだと、やっぱり委員会から市長に向けた提言の中にはそれは入ってなかったということになってしまうと思うので。

事務局：各委員からいただきましたご意見について、どのようにするかについては全体の状況のバランスを踏まえた中での文章表現になるかと思います。趣旨は承知していますので、それを踏まえて対応したいと思います。

副委員長：よろしくお願いいたします。

委員：課題5なのですけれども、課題5の男女平等推進センターの周知と機能充実のため、講座開催や云々とあるわけなのですが、もちろん、男女平等推進センターの周知と効果的な活用等の充実というのは、極めて重要なことですが、男女平等推進のためという目的が入っていない。

事務局：男女平等推進センターの目的は男女平等推進のための拠点ということですので、分かるように記載を変えさせていただきたいと思います。

委員：4ページの上から4つ目のパラグラフのところで、関係機関の連携強化というところがありますよね。効果についての検証ってどうやったらいいのかなとこちらとしては、とにかく円滑な連携があって、常に被害者に配慮が行き届いていればいいわけですね。取組について評価する。引き続き円滑な連携と被害者への配慮に努められたいとか。そんなような形でまとめてもらった方が良いというのが私の意見です。

事務局：確かに効果の検証は難しいと思うので、いただいた意見をベースに検討させていただきます。

委員：(3)の今後に向けてのところでも、その後ろの重要事項に関するところでも、評価の話が出てくるのは、すごく良いなと。それなりに時間をかけてこの評価の話をしてくれていますけど、学校教育とかもよく指導と評価の一体化という言い方をして、適切な評価をすることが次に繋がるという意味ではここにすごく時間をかけて練ってきて、今回提案しているという話がしっかり入っているのがとてもいいなと思っており、ありがたく思っています。

あとこの案には日付の部分が入っていませんが、いつ出すつもりですか。

事務局：いただいた意見を検討、調整しまして、最終的には委員長、副委員長に確認いただき、年明けの2月入った前後に答申としたいと考えております。

委員：最後の結びにの部分で、中間あたりに、性別にかかわらずだれもがというところの、主語でこれ私すごく好きだれもがという言葉が入っているところはすごく良いと思っているのですが、できればポジティブに使ってもらいたい。多くの人が課題を持っているけれど、性別にかかわらずだれもが安心して暮らせるようにしたいみたいな、明るい方向にこの主語を使ってもらえたらと思いました。

事務局：第3次計画の基本理念に「性別にかかわらずだれもが」という言葉が出てきますので、非常に重要なワードですが、委員からお話のあった通り、あまりネガティブには使わないと思います。文章構成は持ち帰らせていただき、前向きな使い方でも再考いたします。

委員：5ページの上から6行目、施策の進展において有益なものになる。これ、私の感覚だと有効の方が良いのかなと思いました。有益だとビジネス用語のような印象があって。もちろん有益でもおかしいということはないのですが。

委員：言われてみれば確かに有効の方がよりフィットする気はします。

委員：私は逆に、ちゃんとメリットが出てくるまで頑張れよという話なのかなと思っていました。私はポジティブな意味でとりましたが、違うと言われれば違うのかなと思います。

事務局：間違っているとか、そういうものではないと認識しております。全体の文章構成、流れもありますので、今回、ご意見をいただいておりますので、あわせて検討させていただきます。

委員：答申に書いて良いのか分からないのですが、②の日本のジェンダーギャップのところとかは、現状がこうで、例えば日本のジェンダーギャップは118位ですみたいな例を一文入れると良いのではないのでしょうか。防災会議の男女比のところも現状こうである、に対してこうしたいというのが、一文、数字なり明確なものとして示せると見やすいと思います。答申というのがそういうものなのかどうか分からないのですが、あったらいいのかなというふうに思いました。

事務局：数字を入れたほうがより分かりやすく、イメージが付きやすいのかなと思います。検討したいと思います。

副委員長：文章は具体的な言葉が入ったことで、随分良いかなと思います。文章だけ読んで

いると流れてしまうので、そこにデータが入ると、心に残ると感じます。

事務局：ありがとうございます。今回頂戴したご意見をもとに、また修正なり追記するなど、検討を進めていきます。検討結果の判断は委員長、副委員長にご一任させていただいて、最終的な答申としてまとめ、その際には、委員の皆様にもメールでご連絡させていただきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

（委員一同異議なし）

副委員長：それでは、そのような形でとりまとめをお願いいたします。

次に連絡事項を事務局よりお願いします。

事務局：本日もご審議ありがとうございました。また再度の日程調整などご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。こちらの答申とともに、毎年作成しております前年度の進捗評価の評価報告書も作成を進めてまいります。完成次第、委員の皆様にも郵送でお送りいたしますので、ご確認いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また本日が今期の最後の委員会の開催となりました。皆様大変ありがとうございました。

事務局：改めまして、本日はありがとうございました。ただ今申し上げた通り、今年度の推進委員会につきましては、おかげさまをもちまして、5回終了いたしました。皆様ご意見頂戴したところについて、皆さまのお力添えをいただきながら、今後も進めさせていただきたいと思っております。

今いらっしゃるメンバーで委員会をさせていただいて、2年というところですが、引き続きこの委員会とともに、国分寺市における男女平等推進施策を進めてまいりたいと思っております。

答申はこれからではございますけれども、現任期の委員会の場合としては本日が最後ということでございますので、御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

委員：最後に1つお願いがあります。私、市のホームページに第3次の議事録が出ていますけど、第4次が決定されるまで毎年全部積み重ねたままにしてはいかがでしょうか。というのも、委員がかつてのお話をご存じで、自分でも記録を持っているから提示できたことがありましたけど、ずっとここから先、あと20年30年お願いしますという話にはならないので、今後、委員会で議論、検討する場面で、例えば前にも同じ話をしたからやっぱり進めましょうという後押しする手がかりとして、残していくのは大事じゃないかと思うのですね。ですので、今年度の分はまた時期を見てアップしていただきたいと思いますけど、昨年度のものも今年度のものも、そして第4次のものが出てくるぐらいまでずっとデータを積んでいってはいかがですか。

ぜひポジティブに検討していただければと思います。

事務局：今消えてしまっているかもしれませんが、第2次の計画でも今までの議事録を載せています。おっしゃる通り次へのかけ橋というところで、良い提案をいただきました。その方向で対応を図ればと考えます。

副委員長：それではこれで本日の推進委員会を終了させていただきます。

ありがとうございました。